

平成29年度 鹿児島大学歯学部公開講座報告

南 弘之

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科
顎顔面機能再建学講座 咬合機能補綴学分野

講座名：在宅での歯科治療を行うにあたって知っておきたいこと

開催地：鹿児島県歯科医師会館

開催日時：平成29年12月2日(土) 17:30~20:00

主催：鹿児島大学歯学部
鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 地域
連携高齢者歯科医学センター

共催：鹿児島県歯科医師会
鹿児島市歯科医師会
(在宅療養支援歯科診療所の施設基準研修
会を兼ねる)

後援：鹿児島大学 かごしまCOCセンター

講座の趣旨・内容：

超高齢社会を迎えて、歯科医師の活躍の場は診療所だけでなくとどまらず、施設や個人の居宅への訪問診療の機会も増えている。高齢者や、基礎疾患や障害を抱えた方たちが対象となることから、多職種連携による対応や、患者のコンディションへのいっそうの配慮が必要とされる。本講座では、高齢者や有病者に安全で有効な歯科医療を提供するために必要な知識を、基礎的および臨床的に解説することを目的とした。

受講対象者：

在宅歯科診療を必要とする方、介護を行なっている方、訪問歯科診療に携わる方

プログラム

1. 挨拶、導入 司会進行 南 弘之
2. 開会の辞・挨拶
鹿児島県歯科医師会 伊地知 博史 会長
3. 加齢と歯の喪失に伴う顎骨の形態変化と注意すべき血管など
解剖法歯学分野 田松 裕一 教授



4. 臨床の現場における緊急時の対応(モニタリング)

歯科麻酔全身管理学分野 杉村 光隆 教授

5. 摂食嚥下機能の評価と対応

口腔顎顔面補綴学分野 西 恭宏 准教授

6. 大学における医科歯科連携と地域包括ケアとの関わり

予防歯科学分野 山口 泰平 准教授

7. 閉会の辞

鹿児島市歯科医師会 下田平 幸一 会長

本年度の歯学部公開講座は、平成29年12月2日(土)に、鹿児島県歯科医師会館にて、鹿児島県歯科医師会



山口先生



杉村先生



西先生



田松先生

および鹿児島市歯科医師会の共催、鹿児島大学ごしまCOCセンターの後援のもと、在宅療養支援歯科診療所の施設基準研修会を兼ねて開催された。今回は有料の講座としたが、総勢64名の出席を得た。

講演は、鹿児島県歯科医師会の伊地知 博史 会長の開会の辞で始まった。

まず田松教授が、加齢に伴う口腔領域の変化について、歯の喪失と顎骨の形態の関係や、それによって露出する血管を、解剖画像を用いて示された。続いて杉村教授は、安全な有病高齢者の歯科診療を実行するための呼吸器系や循環器系への配慮や、外来診療および在宅診療の現場における緊急事の対応について、モニターに用いる機器の解説をまじえて紹介された。3題目の西准教授は、現在の超高齢社会を迎えて注目を集めている摂食嚥下機能の評価と、それに基づいた食事・栄養摂取の指導について説明された。最後に、山口准教授は、現在の鹿児島大学病院における医科歯科連携の現状を紹介され、地域包括ケアを推進するための多職種連携の重要性やその中での歯科の役割を解説された。

最後に、鹿児島市歯科医師会の下田平 幸一 会長より閉会の辞を頂き、講座を終了した。

各演題とも熱のこもった講演となり、十分な質疑応答の時間が確保できなかったが、講演終了後に講師に直接質問する参加者もおられた。また、各講演について、もっと詳細に話を聞きたいとの声も多数寄せられたため、今後の開催に向けて構成の参考にしたいと感じた。

講座終了後には懇親会に招いていただいた。会には鹿児島県歯科医師会および鹿児島市歯科医師会の役員の多数の先生がたが参加者された。現在の役員には伊地知会長をはじめ、鹿児島大学の卒業生や、鹿児島大学のいずれかの講座に在籍しておられた先生が多数お

られ、非常に活発な交流の機会ともなった。大学と歯科医師会の関係強化、また大学と地域の橋渡しの役目を十分に果たすことができたと考えている。

最後に、本公開講座の開催にあたりご尽力いただきました、鹿児島県歯科医師会の黒木 敦朗 会員部会担当常務理事、鹿児島県歯科医師会の前田 裕一 学術担当理事、鹿児島市歯科医師会の橋本 裕 学術担当理事、鹿児島県歯科医師会の事務局の方々をはじめ、実務に携わられた先生がたに厚くお礼申し上げます。また、公開講座の準備・実施にご助言、ご尽力いただいた、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科総務課庶務係の山下 樹 係長ならびに山口 浩史 氏を始めとする関係諸氏に、心から感謝いたします。